

企業の若年者定着実践支援事業

先進的企業 第一回 観察

<目的> 社員のために独自のユニークな制度を確立し、社内のコミュニケーションを高めるなど先進的な取り組みを行っている企業を観察し、自社の若年者定着へ向けた取り組みのヒントとする

<観察日> 平成27年9月1日（火）

<観察人数> 13名

<観察先> 万協製薬 株式会社 <http://www.bankyo.com/>

三重県多気郡多気町

（資本金）4,000万円



阪神淡路大震災で工場が全壊し、三重県に拠点を移し、3人から再スタート。売上は当時の50倍、従業員数は100人を超える会社ですが、ある年、若者が次々と退職したことから、“従業員に必要とされる会社”を目指し、社長の様々な“仕掛け”(取り組み)が始まりました。

それにより、現在は従業員の満足度が向上し、若年者の定着にもつながっているそうです。

それでは、その“仕掛け”(取り組み)の一部をご紹介しましょう。



ギャグと歌が
大好きな
松浦社長です

① プチコミファミリー制度

毎年、部署や年齢の違う4～5人で“疑似家族”を作り、食事会や旅行等をしたことから、いつでも誰にでも相談しやすい環境となり、助け合いの絆が生まれたようです。

(食事会には一人3,000円、旅行は一人100,000円の補助が出るそうですが、そのためのプレゼンや報告書のまとめや発表が必要だとか)

ユニケーション・ボ

② 社長直行便

上司に言っても“社長まで届かない声”をなくすため、
社長に直接メールで意見等を伝える仕組みです。

(「新刊出たので買ってください！」
でもいいそうです)

どんどん松浦社長に
メール送ってください。
苦情、意見、要望、提案、相談、等々
なんでも結構。

苦情・意見・要望・提案・相談
なんでも結構。携帯メールでお気軽に。
と社長のアドレスが書かれています

③ 39（ありがとう）カード



自分自身、普段当たり前だと
思って感謝の気持ちや言葉を
忘れてしまってはいないか
と、ふと考えさせられました

なかなか口では言いにくい感謝の言葉（ありがとう）をカードに
たくします。カードはさりげない場所にそっと置かれていました。
(もらった人はもちろん書いた人にも一枚100円がもらえる仕組みです)



④ ジョブローテーション

配置換え（異動）によりポイントがもらえ、それによって給与やボーナスが上がる仕組み。
そのためには、早く仕事を覚え、他人に指導できるようにならなければならず、みな真剣
に仕事に取り組まれています。また、その手助けとなるマニュアル等の“見える化”の工夫
がカギを握ります。



⑤ 育児休暇制度

子供が3歳になるまで育児休暇取得を可能とし、小学校を卒業するまで育児短時間勤務
の取得が出来る仕組みを設け、子育て世代の働きやすさにも配慮されています。
(もちろん、取得しやすい環境がないといけません！)

⑥ 提案書制度

従業員からの業務改善提案が、廊下や階段踊り場にところ狭しと貼られており、そのひとつひとつに社長からのメッセージが添えられていました。

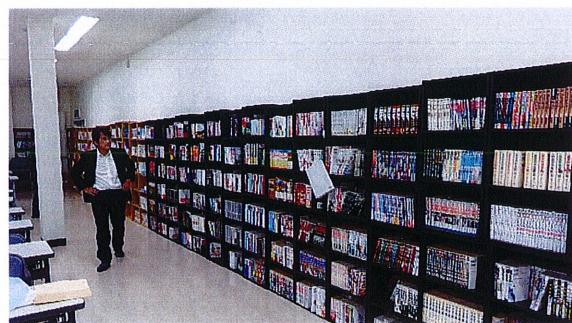
良い意見はすぐ実行し、働きやすい環境が作られていました。

また、内容に応じて報奨金(数百円から一万円)が支払われています。



視察した企業の中でも、こういった取り組みをされたことがあるようでしたが、なかなか長続きしなかったようです。

他にもたくさんの“従業員のための工夫”がされていました。



上の写真は、従業員のみなさまの休憩室です。まるで本屋さんみたいでした。すべて社長の私物で、いつでも自由に本や漫画、DVDが借りられます。自動販売機の飲み物はすべてタダ！でも経費削減のため、一人一日3杯まで！とされました。

その他、子供服等のリサイクルコーナーやマッサージ機等の健康器具があるコーナーがあつたりと、毎日が楽しいと思えるスペース作りを心掛けていらっしゃいました。

松浦社長の講演・ディスカッション後、社長ご自慢のフィギア博物館を見学させていただき視察を終了しました。



20,000体のフィギア…

仮面ライダーが好きだった私は童心にかえってしまいました！



万協製薬のみなさまありがとうございました。